

令和7年度 第2回
社会福祉法人新川会グループホーム 地域連携推進会議議事録

1.開催日時 令和7年10月23日(火)14:00~15:00

2.開催場所 つつみだにの家

3.出席者 9名

<地域連携推進委員>

・利用者代表 岩田(つつみだにの家)、島田(かわはらだの家)

・利用者家族 金山(つつみだにの家)

・地域の関係者 川原田区長、堤谷区長

前沢6区の1区長

・市町村担当者 上市町福祉課

<事務局>

・新川会グループホーム管理者 野島

・新川会グループホーム支援員 二口

4.議事内容

(1)開会挨拶

・管理者より挨拶

(2)地域連携推進会議の趣旨・構成員の役割について

・地域連携推進会議の概要について説明

→新川会グループホームと地域との連携が目的の会議であるため、構成員の皆様には繋ぎの役割を担っていただきたい。

(3)出席者紹介

(4)新川会グループホームの概要について

利用者の状況、各グループホームの概要、必要経費について説明

(5)意見交換

・区長とまえざわの家の繋がりが密ではなく、町内としてまえざわの家に利用者が何人在籍しているか把握できていない。災害時に人数把握が必要なため、利用者の異動があれば人数だけでも区長と情報交換を行う必要あり。

・入所前、親と子どもだけの世界ではこの先難しいことが多々あった。入所当初は家へ帰りたいたい思いが強かったが、入所してから2年が経ち、落ち着いて過ごせるようになった。親と子どもが互いに心の面で安定して暮らしているため、離れて暮らすのもいい。

・つつみだにの家と地域の方との交流が少なく、散歩時に見かける程度。四ツ葉園の利用者も散歩しているが、グループホームの利用者と見分けがつかない。

→グループホームの利用者は四ツ葉園の利用者より自立度が高く、ある程度身の回りのことは自分でされる方が入居している。

・マックスバリュの近くにある団座喫茶はグループホームと関係ある施設なのか？

→団座喫茶はいっぱいっぼ上市という事業所であり、GH利用者が働いている。

・いっぱいっぼ上市ではどんな仕事をしているのか？

→いっぱいっぼ上市での仕事内容を説明。

・食事は誰が作っているのか、買い物は？

→世話人が食費の予算内で食材の買い物、朝・夕食を作っており、利用者の皆さんに美味しいご飯を食べさせてあげたいという思いで世話人をしてくださっている。まえざわの家とかわはらだの家は各世話人3名ずつ、つつみだにの家と第2つつみだにの家は各4名ずつの世話人が勤務している。

・かわはらだの家には休日の日中、職員はいないのか？

→かわはらだの家、まえざわの家には自立度が高く、助言程度の方が入居しているため、土日の日中は職員不在で本人たちに任せている。つつみだにの家と第2つつみだにの家は日中支援という形で職員が支援に入っており、利用者は職員と一緒に日中過ごしている。

→自立に向けて、自分でできることがあればと思い、月に1回町内の外出を始めた。

・お金の管理は？(給料の管理等)

→新川会の職員で管理。給料、工賃は全て振込。まえざわの家とかわはらだの家の利用者には

小遣いを渡している。預かっているお金の中から衣料品、日用品を買い足し、長期帰省時に収支明細を保護者へ渡している。成年後見人を利用している方には毎月収支報告している。

・つつみだにの家周辺にイノシシ等が多いため心配。

→以前イノシシにつつみだにの家の前にある畑を荒らされたことがある。また最近熊の目撃情報が多く、歩行運動時に不安あり。ただ知的障害の方は意識して身体を動かすことができなく、骨密度も低いこともあり、職員からの働きかけで運動を促す必要がある。

・新川会グループホームの課題…高齢化、個別の支援(外出等)

→例えば外出の支援をボランティアにお願いできるシステムがあれば良い。

(6)閉会 見学

・会議前につつみだにの家、第2つつみだにの家見学実施。